

ワールドカップまで55日! / リーチ マイケルらスーパーラグビー組に訊く / 全国高校7人制大会

ONE FOR ALL, ALL FOR ONE

平成27年7月25日発行・発売 (毎月25日発行・発売)
第44巻・第9号・通算516号 昭和50年7月2日第三種郵便物認可

Rugby

magazine

ラグビーマガジン

2015 SEPTEMBER
VOL.516

特別定価 **990円**
ベースボール・マガジン社
<http://www.bbm-japan.com>

INTERVIEWS

リーチ マイケル [FL/NO8]

稲垣啓太 [PR]

ツイヘンドリック [FL/NO8]

松島幸太朗 [CTB/WTB]

山田章仁 [WTB]

各地区高校大会リポート
アシックスカップ2015
第2回全国高校7人制大会

大学ラグビー
新リーダーインタビュー

山下諒之 [中央大主将]

才田 智 [同志社大主将]

東口剛士 [天理大主将]

ワールドカップ開幕間近。

ONLY 55 DAYS!

パシフィック・ネーションズカップ始まる。
REPORT JAPAN vs CANADA





躍進マジックマッシュ、DENKOの進撃止める!

レディースはエリンギがツアー2連勝達成。

BET IT ALL
The All Japan Beach Rugby A National Tournament 20th

ROUND 2 第20回 南紀白浜大会

6/27(土)・28(日) 和歌山県白浜町・白良浜海水浴場

7月に入って梅雨前線も過ぎ去り、いよいよ本格的な夏が到来! 日増しに強まる日差しとともに、ビーチラグビーシーズンもグングンヒートアップしてきた。ラウンド2南紀白浜大会では、B-1プレミアム3連覇中の王者・DENKO MACが決勝で敗れる波乱。盤石の歩みを止めたのは、3週間前の東海大会でも決勝で激突したマジックマッシュだった。レディースではマジックエリンギがツアー2連勝を飾るなど、ここ数年続いた勢力図が大きく変わりつつある今シーズン。7月26日に迫った全国大会で最後に笑うのはどのチームか。砂の上で繰り広げられる熱き戦いの模様を徹底レポート!



ついにDENKO越えを果たしたマジックマッシュ。全国大会へ向け、大きな自信をつかんだ

フルタイム直後、歓喜を爆発させたマジックマッシュ。涙を流す選手の姿も



充実一途のマジックエリンギ。全国女王の座へ向け、視界良好!

快進撃が止まったDENKO MAC。ここからの巻き返しに注目だ

主催：国際ビーチラグビー協会
共催：和歌山県ビーチラグビー協会/ビーチラグビー白浜大会実行委員会
後援：白浜町/白浜町教育委員会/白浜観光協会/白浜温泉旅館協同組合/白浜町商工会/JA紀南/和歌山県ラグビーフットボール協会

2015年のジャパンツアー第2戦は、今年で20回目を迎えた南紀白浜大会。節目の開催を祝福するかのよう

の前に0-7と完封負けを喫したマジックだったが、この日は違った。風下の前半、左右の揺さぶりから大型選手の高さを生かしてフロントパスを通し先制。その後、DENKOの速い攻めにトライとエキストラを許し、いったんは逆転されたが、後半なかば過ぎに粘り強くパスをつないで40分近くを攻め切り、7-4とふたたびリードを奪う。

ツアーの中でも屈指の美しさを誇る純白のビーチを求めて全国各地から90チーム以上が参加する中、B-1プレミアムでは近年目覚ましい躍進を遂げたKID-RFCが予選プールで王者DENKO MACに8-8と引き分けるなど、初日から観客席を沸かせる好ゲームが続いた。この両者は2日目の準決勝でも激突。強い風が吹きつける中、ハーフタイム直前にDENKOが鋭いランプレーから右隅にトライを挙げ先制したが、KIDも後半早々に巧みなフェイクでディフェンスを突破し、前パスを通して試合を振り出しに戻す。またも同点か…と思われたが、ここで勝負強さを見せたのがDENKO。得意のスピーディーな展開からしぶとトライとエキストラを決め、KIDの追撃を振り切った。

残り1分、DENKOも必死に反撃するが、マジックのディフェンスの集中力はなかなか途切れない。粘り強くプレッシャーをかけ続け、我慢比べを制する形でそのままタイムアップ。ここ数年、無敵の強さを誇ってきたDENKOの進撃をついに止めた。DENKOが東海大会を勝っているため決勝進出時点でマジックの全国大会出場は決まっていたが、東海大会の雪辱を果たすとともに勝って全国切符をつかんだことは、チームにとって大きな自信になるだろう。

もうひとつの準決勝はマジックマッシュが五右衛門を完封で破り、決勝はROUND1東海大会に続いてDENKO-マジックの顔合わせに。前回の対戦では3連覇中の王者の貫禄

またレディースの決勝は東海大会を制したマジックエリンギが、Lady Unlacheと対戦。前半に先制トライを挙げたエリンギは、その後スコアこそ伸ばせなかったものの、グラウンドを大きく使うワイドなアタックで主導権を握る。結局虎の子の3点を守り抜き、ツアー2連勝。パススキルが大幅に向上し、効果的にスペースを攻めて再三ゲインを見せるなど、たしかな成長ぶりを示した。



男子MVP



女子MVP

藤原ひろし選手 (マジックマッシュ)

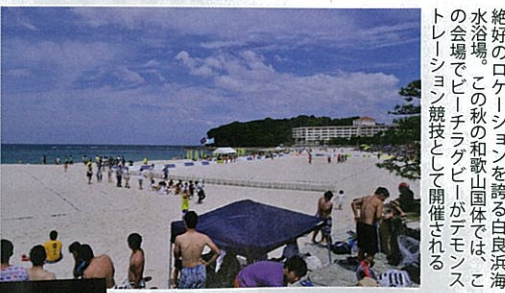
中田有香選手 (マジックエリンギ)



レディース準優勝のLady Unlache。マジックエリンギが東海大会を勝っているため、全国出場が決まった



Over35決勝、びわ湖連合-HANAクラブ戦



絶好のロケーションを誇る白良浜海水浴場。この秋の和歌山県体では、この会場でビーチラグビーがデモンストラレーション競技として開催される



特設ブースには過去20年分の大会Tシャツの掲示も

B-1プレミアム・優勝 マジックマッシュ (大阪府)

B-1プレミアム・準優勝 DENKO MAC (京都府)

レディース・優勝 マジックエリンギ (大阪府)

レディース・準優勝 Lady Unlache (奈良県)

OVER35優勝 びわ湖連合 (滋賀県)

▶LADY'S TOURNAMENT

s mile	0
べっぴん おぶあんらーちえ	0
マジックエリンギ	17
和夏楽	3
Team 梅っsh7	0
オレンジモンキーズ	11
team LUCE	3
MORO☆Q	3
Lady Unlache	7
team LUCE(敗者復活)	0

▶B-1 PREMIUM

DENKO MAC	8
KID-RFC	7
team ZERO	4
N G L	3
五右衛門	16
マジックマッシュ	7

1日目の夜に行われたマイチーム花火。大盛り上がり